

第34回 マルちゃん杯関東少年柔道大会 要項

1. 目的 柔道の試合を通じて心身を鍛錬するとともに、その技能を磨き、将来を担う関東地区の少年相互の親睦を図り、明るく、正しい、そして、たくましい少年の健全育成を目的とする。
2. 主催 公益財団法人東京都柔道連盟、東洋水産株式会社
3. 主管 公益財団法人東京都柔道連盟
4. 後援 (予定) 公益財団法人全日本柔道連盟、東京都教育委員会、公益財団法人東京都スポーツ協会、関東柔道連合会、東京都中学校体育連盟、サミット株式会社
5. 日時 令和6年6月30日（日）開会式9時30分
受付7:45 開場：監督/選手8:00（予定） 観客：監督選手の入館後
審判会議 8時30分～ 2階 大研修室
6. 会場 東京武道館 住所：東京都足立区綾瀬3-20-1
電話：03(5697)2111
交通：東京メトロ千代田線 綾瀬駅東口 徒歩5分
7. 参加資格 (1) 出場チームは全柔連登録している団体（道場・クラブ・学校・スポーツ少年団）
（但し、実態が同一である団体は名前が異なっても1チームのみの出場とする。）
選手は出場チームを通して全柔連登録していること。
チーム編成は小学生の部（**小学3年生以上**）、中学生男子の部は監督1名、選手5名（最低3名）
補欠2名まで、中学生女子は監督1名、選手3名（最低2名）と補欠1名までとする。
※補欠の補充は試合中の負傷等により欠員が生じる場合のみとする。
※救護室で診察を受け、発行された「選手変更届」を進行・放送席に提出する。
(2) 選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者並びに団体の承諾を得ること。（特に証明書等の提出は求めない）
(3) 出場チームは、指導者が必ず監督として引率すること。
勝敗にこだわり、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合はそのチームを失格とし、今後の本大会の出場を認めない。
(4) **監督は全柔連公認指導者資格を有し、登録が済んでいる者とし、小学生・中学生男子・中学生各種別の監督を兼務することは認めない。兼務しているチームは双方とも出場は認めない。**
大会当日兼務が発覚した場合、当該チームは失格とする。
*大会当日、監督不在のチームは出場することができない。
*学校顧問特例資格は、必ず所属都県柔道連盟に申請し認定されていること。
（当日、認定証を持参）
*資格の虚偽が判明した場合は、失格または指導者資格の停止も含め厳重に対応します
8. 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行なう。
(2) 試合時間は、各部ともに1回戦～準々決勝戦まで2分とし、準決勝戦・決勝戦は3分とする。
代表戦についても、それぞれ2分及び3分とする。
(3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」※とし、得点差が無かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。但し、代表戦の場合は、旗判定で必ず勝敗を決する。
（GSは行わない。）
※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

9. 試合方法 (1) 団体試合とし、小学生の部、中学生男子の部及び中学生女子の部の3部制とする。
選手の配列は、段・級及び学年は自由とするが、負傷・事故防止のため、体重の重い順に大将から配列するものとする。また、欠員が生じる場合は最も軽い位置を欠員とする。
また、小学生の部は男女の混合を認めるが、中学生の部においては男女の混合は認めない。
(2) 試合は、小学生の部及び中学生男子の部は5人制、中学生女子の部は3人制の点取り試合とし、トーナメント戦により実施する。
(3) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
ア. 勝者数の多いチームを勝ちとする。
イ. アで同等の場合は、「一本」（それと同等の勝ちを含む）による勝者数の多いチームを勝ちとする。
ウ. イで同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
エ. ウで同等の場合は、代表戦で勝敗を決する。
出場する選手は「引分け」であった対戦の中から1試合を抽選で選出する。
10. 表彰 (1) 上位各8チーム（中学生女子の部は4チーム）までの入賞チームに、東京都柔道連盟及び東洋水産株式会社から賞状（第3位まで）及び賞品を授与する。
(2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部1名にフレッド・ワダ杯を授与する。
(3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、各部8名（中学生女子の部は3名）に優秀選手賞を授与する。
11. マルちゃん杯全日本少年柔道大会への出場について
小学生の部上位8チーム、中学生男子の部上位12チーム及び中学生女子の部上位4チームは、令和6年9月22日（日）東京武道館で開催される2024年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会への出場権を得る。なお、全日本大会に出場する選手は地区大会と同一メンバーであること。
12. 申込方法 (1) 申込期間 令和6年5月21日（火）～令和6年6月4日（火）
(2) 申込方法 Excelの申込フォーマットに入力しExcelのまま送信してください。
【お願い】業務効率化のため、申込フォームをPDFにしないでください。
(3) 申込に関する問い合わせ先 公益財団法人東京都柔道連盟
メール：moshikomi@tojuren.or.jp / TEL：03-3818-5639
13. 選手変更 (1) 申込み後の選手変更は原則として認めない。
(2) 以下の場合は変更或いは欠場を届け出ること。提出締切：令和6年6月26日（水）
①体調不良や負傷等で止むを得ず選手変更または欠場する場合
②選手の体重の増減により配列に変更がある場合
但し、選手変更は補欠を含めたエントリー選手の中で行う事。補欠の補充はできない。
【変更方法】体重の重い順に再編成し、都柔連ホームページ内の選手変更・欠場届に入力し申込アドレスに送信してください。（moshikomi@tojuren.or.jp）
(3) 試合中に負傷し出場が継続できない場合は救護室で受診し、発行された選手変更届を進行・放送席に提出すること。
(5) 負傷等により変更になった選手は、以後の試合に出場出来ない。
14. 組み合わせ 令和6年6月6日（木）都柔連事務局において、東京都柔道連盟及び東洋水産株式会社の立会いのもと実施する。
15. 参加費 無料
16. 傷害保険 (1) 主催者は、参加者全員の傷害保険に加入し費用を負担する。
(2) 参加者は健康保険証を必ず持参すること。

- (3) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置は施すが、それ以外の責任は負わない。
※万一の事故の発生に備え、各チーム独自で傷害保険等に参加するなどして万全の事故対策を立てておくこと。

17. 柔 道 衣 柔道衣及び女子のインナーは白色のみとする。

原則として柔道衣の袖・裾の折込みは禁止とする。ただし、成長期を考慮し、この大会に限り5cm・一折りまでの折込み可。また、前合わせについては十分な重なりがあること。認証柔道衣の使用は義務付けない。ただし、製造者マークについては全柔連の規定を遵守する。*肩に三本線が入ったアディダスの柔道衣は認めない。

18. ゼ ッ ケ ン

図1. ゼッケンの縫付方

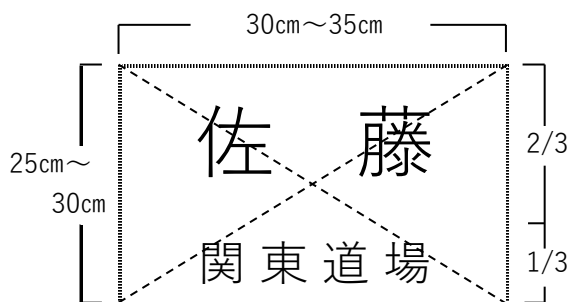
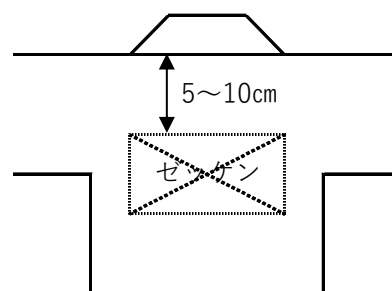


図2. ゼッケンの縫付位置



- (1) 参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。
付けていない選手は出場出来ない。
- (2) ゼッケンの所属名は『申込み団体名』（省略は可）とする。
- (3) チームに2名以上同じ名字（姓）の場合は、名前の一字以上を加える。
- (4) ---- の部分を縫い付ける。
- (5) 図2. の位置に強い糸で縫い付ける。（対角線にも）
- (6) 名字（姓）は上側2/3、出場するチーム名は下側1/3。
- (7) サイズは概ね横30cm~35cm、縦25cm~30cm。
- (8) 布地は白色(晒・太綾)とし、書体は太いゴシック体または明朝体(楷書)で、男子は黒文字、女子は赤文字とする。

※ 出場チームと異なるゼッケンの場合は出場できません。ご注意ください。

19. そ の 他

- (1) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

下記項目について、申込書の提出をもって了承されたものとし取扱い致します。

参加申込書に記載された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・大会ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。

大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合があります。

- (2) 観客について

東京武道館の消防法上の入館者制限により観覧者については以下の通りとする。

選手（補欠含む）1名につき1枚のリストバンドをお渡しします。

保護者の膝の上で観覧する幼児はその数に含めない。

* 上記以外の一般観客の入場は不可とする。

(3) 女子選手の髪型について

長い髪は試合相手の迷惑にならないようしっかりと束ねること。

束ねた髪が相手の目に届かぬよう更に短く束ねること。

事故防止のため、ヘアアクセサリは禁止とする。

(4) 監督の服装について

監督は、審判員に準じた服装（Yシャツ・ネクタイ・スラックス）を基本とする。

女性はブラウス等でも可。また、ネクタイは不要。

(5) 選手の宿舎及び大会当日の昼食は各自で用意すること。

(6) 宿舎の斡旋は行わない。

(7) 出場者全員に東洋水産株式会社の参加賞を授与する。

(8) 脳震盪対応について

選手および指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。

(9) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任に

において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手に

ついては、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。

もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

参加申込及び問い合わせ先

公益財団法人東京都柔道連盟

〒 112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館内

TEL：03-3818-5639 ・ 03-3818-4246

FAX：03-3818-5644

E-Mail：tojuren@tojuren.or.jp

